

# 報告書

2020年 9月 8日

活動実施団体名 鳥羽市立海の博物館

(公益財団法人東海水産科学協会)

責任者名 館長 平賀 大蔵

報告書作成者名 平賀 大蔵

## 1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

「海の博物館周辺の海で ウミウシを探そう！」

## 2. 実施日

第2回目 2020年8月2日 (日曜日) 11時～14時

## 3. 実施場所

三重県鳥羽市浦村町大吉1631-68

鳥羽市立海の博物館から歩いていく大吉半島の東海岸の2か所の磯

## 4. プログラム等

11時集合・スケジュール紹介 11時15分持ち物を確認して出発

11時30分磯に到着 (注意事項説明の後、ウミウシ等の生きもの採集)

13時20分写真撮影等 13時30分帰路 (海博到着後足等の洗い)

13時55分集合・感想 14時解散

## 5. 対象・参加人数 (内訳)

参加者14名 (小学生6名とその親8名)

<参加小学生：小学2年生1名、4年生2名、5年生2名、6年生1名>

スタッフ3名 (北村、内藤、平賀) ケーブルテレビ取材2名

## 6. 活動の内容・状況・感想 (参加者並びに主催者)

ウミウシとは、貝殻をもたない巻貝の仲間の総称です。その美しい色彩と多様な形態が多くの人を魅了しています。海の博物館から歩いて行ける大吉半島の磯に大潮の干潮時に出て、磯の岩陰や海藻類の中に潜むウミウシ類を探しながら磯の生きものに触れる体験です。捕獲したウミウシをはじめとする磯の生きものは、観察会終了後、磯(海)に放して終了しました。今回は、海の腰まで入って、岩陰などを水眼鏡で覗いてウミウシを探しました。最初の場所で1時間、その後場所を変えて別の磯で1時間ほどウミウシを探しました。

・捕獲したウミウシ類は、アオウミウシ5匹、フタスジミノウミウシ1匹の2種類6匹でした。

・参加者の感想

採集瓶の中のアオウミウシを手にとって目の前で見ることができたのが、嬉しかった。

「アオウミウシ3匹発見！」の音が聞こえたので、その場所にいったら水眼鏡で覗けるように準備してくれてあった。岩陰に固まっていた3匹のアオウミウシを見ることができてとても良かった。岩(転石)の下にいたフタスジミノウミウシは、とても小さかった。

最初はウミウシとはわからなかったけど、スタッフの人が教えてくれた。ウミウシにも

いろいろな種類や大きさに違いがあることがよくわかった。ウミウシは簡単には見つからないけど、今度来た時には絶対にウミウシを見つけたい。



・主催者の感想

最初に訪れた磯で海に入ったときにスタッフが数匹のアカエイの幼魚を発見、参加者に海底の岩場を歩き、絶対に砂の上を歩かないように注意してから海に入りました。参加者の中にはアカエイを網ですくった人がいて、そのアカエイの尾を切り、その中に隠れているトゲバリを取り出して、全員にアカエイがとても危険な生きものであることを説明しました。3匹のアオウミウシを発見した人が直ぐに捕獲しないで声を上げてくれたことから、参加者が集まり順番に子どもたちにも水眼鏡を覗いてもらいウミウシの姿を観察してもらえたことが良かった。ウミウシをケースの中で見てもらうだけでなく自然の海の中でどのようにしているのかを知ってもらうことが出来ました。参加した子どもたちは、ウミウシに限らず、初めて見る生きものに興味津々、さまざまな海の生きものに出会うことのできる企画（場）をもっと増やしたいという思いが強くなりました。

